

## もの言う牧師のエッセー・・・第247話

## 「警官がおごってくれた」

米国ルイジアナ州バトンルージュで7月5日未明、黒人男性が白人の警官2人に取り押さえられ射殺された。その翌日、ミネソタ州ファルコンハイツで又しても白人警官が運転中の黒人男性を呼び止め射殺した。いずれのケースも現場の生々しい様子がネットの動画サイトなどによって全米に瞬く間に広がり、各地で抗議運動が広がる中、7日の夜、テキサス州ダラスで行なわれていた抗議活動の最中に、デモを警戒していた警官がアフガン帰りの黒人帰還兵に狙撃され、そのうち5人の警官が命を落とした。「白人を殺したかった」と常々言っていた犯人は警察と未明まで銃撃戦を繰り広げ、数時間の交渉を経た後、警察が仕掛けたロボット爆弾により爆殺され、全米に衝撃が走った。

明けて8日、金曜日の夜、ペンシルバニア州ホームステッドで4人の警察官がレストランで食事していたところ、彼らの真向かいのテーブルに一組の男女カップルが案内されてきた。が、男性はチラッと警官たちを見た後、「俺はここに座りたくねえよ。」と言って別の席を指定。カップルは彼らからは見えない反対側の席に座ったが、店は何とも言えない気まずい雰囲気。

その後、食事を終えた警官たちは立ち去ったが、珍事が発覚した。何と彼らはカップルが注文した分の支払いも済ませ、「ご主人。あなたのお勘定は警察官がお支払いしました。いつもご協力くださり感謝します。」とレシートに書き置きしていたのだ。店によるとカップルは飛び上がるほどに驚いた後にクスツと笑ったそう。 「いやあ、市民と気まずい雰囲気になることはよくあることだね。昨夜のダラスの事件もあるし。」と4人の警官の一人トーマスさん。「でも、そんなギスギスした時だからこそ市民と警察官の間を仕切る壁を少しでも壊す努力をしたいんです。」と笑顔で話す彼を見て、聖書の言葉

**「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勤めなさい。」 第二テモテへの手紙4章2節、**

を思い出した。世の中に重苦しい空気が漂う現代、人々はますます自分の気持ちを伝えるのを避け、本音を隠し、場当たりに動いてしまうことが多いのではなかろうか。だが思い出そう。キリストは十字架にかかり、我らの罪のための支払いを済ませてくれたことを。気まずくなった神との関係を修復してくれたことを。改めて自分にも何か出来ることがあるはずだと奮い立った。 2016-8-10

